

チロブロック®錠を投薬されるご家族の皆様へ

# 猫の 甲状腺機能亢進症



監修：左向敏紀先生  
日本獣医生命科学大学名誉教授  
日本獣医内分泌研究会会長

〈病院名〉

bah 物産アニマルヘルス

3314AH HAB

## はじめに

近年、猫の健康診断の普及や検査技術の進歩に伴い甲状腺機能亢進症に罹っている猫が多く存在することが明らかになってきました。猫では7歳以上で10頭に1頭、13歳以上では5頭に1頭の割合で発症することが知られています。シニア猫にとって決して珍しい病気ではありませんので、うちの子がこの病気になったとがっかりしないでください。

早期発見、早期治療することで寿命が延びることが明らかになっています。治療として、過剰になった甲状腺ホルモンを減らすことが必要で、そのための薬として、猫用の「チロブロック<sup>®</sup>錠」という内服薬が販売されています。

本冊子は、高齢の猫に多く認められる甲状腺機能亢進症のことや「チロブロック<sup>®</sup>錠」について解説しております。皆様のお役に立てれば幸いです。

## 1 甲状腺機能亢進症について

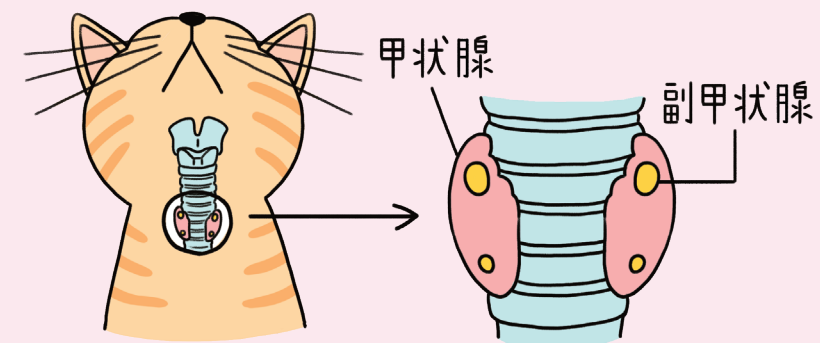
甲状腺から出るホルモンの分泌量が過剰になることで起こる全身性の病気です。甲状腺ホルモンは心臓や腎臓など身体の様々な組織の機能を活発にするため、この病気になっても見かけ上は元気なことが多いです。このため、「普通に生活できているから大丈夫」と思いがちです。しかし、甲状腺ホルモンが増えすぎると血圧が上がりすぎたり、心臓などへの負担がかかり続けます。

元気だからと放置していると心臓病や腎臓病が進行したり、糖尿病が引き起こされる可能性もあります。

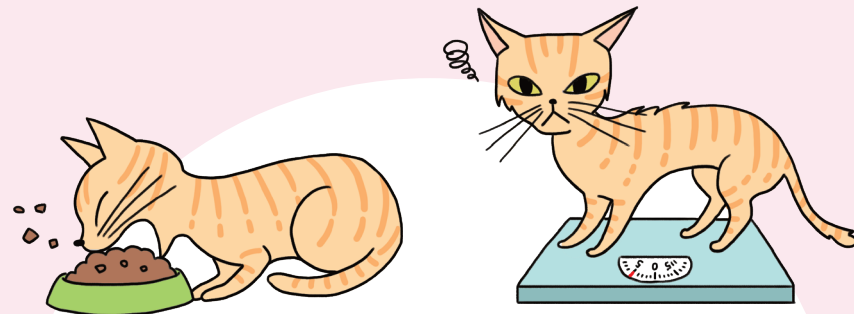
### 甲状腺とは？

甲状腺は、のどの少し下あたりに位置し、気管の左右にあります(図1)。甲状腺はサイロキシン(T4)などの甲状腺ホルモンを分泌します。甲状腺機能亢進症の猫の甲状腺は、片側または両側が大きくなっていることがあります。

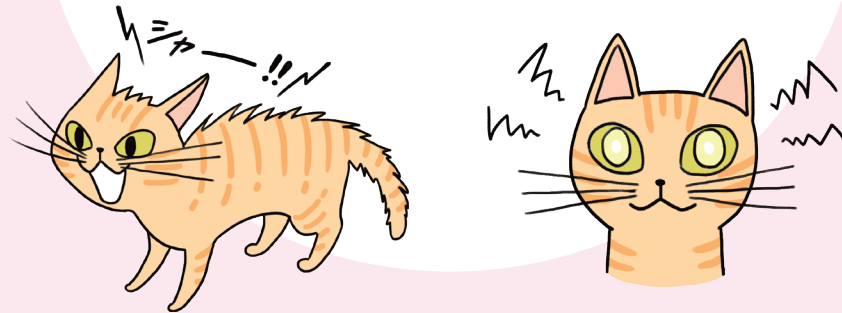
甲状腺(図1)



## 2 甲状腺機能亢進症の症状



主な症状は、  
よく食べるけどやせてくる、  
性格が攻撃的になる、目がキラキラする、  
水をたくさん飲む（多飲多尿）、嘔吐や下痢、  
毛の光沢がなくなるなどです。



また上述の症状をはっきり示さない猫もいます。  
7歳を過ぎた猫は定期的に甲状腺の検査を受けておくと安心です。

## 3 甲状腺機能亢進症の検査

甲状腺機能亢進症を診断するときは、血液検査で甲状腺ホルモンのサイロキシン(T4)を測定します。基準値(表1)より高ければこの疾患を疑い、症状や甲状腺の大きさなどの結果を総合的に判断し甲状腺機能亢進症と診断します。薬を飲み始めてからは、薬が効いているか、あるいは効き過ぎていないかを確認するためにT4値を定期的に測定します。

甲状腺の病気では肝臓の数値の異常や血圧が上昇することがあります。また、心臓が異常に大きくなったり、目の異常を示したりすることもあります。このため、血液検査以外に身体検査や血圧検査、X線検査を行い全身の状態を調べる必要があります。

表1 T4値の基準範囲

T4値(μg/dL)		
低値	基準値	高値
<0.5	0.5~4.0	>4.0

※検査会社によって基準値が異なる場合があります。

## 4 甲状腺機能亢進症の治療法

薬物療法、ヨウ素制限食および手術療法があります。比較的好く行われるのは内科療法やヨウ素制限食の給与です。

治療法	長所	短所
薬物治療 チロブロック®錠 (猫用医薬品)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手軽な方法である</li> <li>• 麻酔や入院の必要がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 副作用が起こる可能性がある</li> <li>• 毎日続ける必要がある</li> </ul>
ヨウ素制限食 (ペット用療法食)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 摂取しやすい</li> <li>• 副作用が少ない</li> <li>• 麻酔や入院の必要がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 毎日続ける必要がある</li> <li>• 食事制限が厳しく、他の食事・おやつすべてを与えることができない</li> <li>• 効果発現に時間がかかる</li> <li>• 嗜好性の低い猫がいる</li> </ul>
手術療法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 治療効果が確実に得られる</li> <li>• 根治を望める</li> <li>• チロブロック®錠の無効例に実施することがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 麻酔や入院が必要である</li> <li>• 高齢の場合リスクが高い</li> <li>• 手術による合併症(喉頭麻痺、甲状腺機能低下症、上皮小体機能低下症に続発する低カルシウム血症)の可能性がある</li> <li>• 術後に状態が悪化しても後戻りはできない</li> <li>• 術後はホルモン補充のため毎日投薬が必要である</li> </ul>

### チロブロック®錠について

動物用医薬品として国内で唯一、猫の甲状腺機能亢進症の治療薬として承認されたお薬です。このお薬は甲状腺で過剰に分泌される甲状腺ホルモンの合成を抑え、血液中の甲状腺ホルモンを下げることで、種々の症状を改善します。

猫ちゃんのために、錠剤は小さく、苦味をマスクするためにコーティングしています。このため、このお薬を割って飲ませたりすると苦みが出て猫ちゃんが飲むのを嫌がったり、効果が悪くなったりします。決して割って飲ませないでください。

(錠剤の大きさ)



#### 副作用

このお薬を投薬中に、下痢、軟便、嘔吐、便秘、頭・顔面をかゆがる、元気消失などに気が付かれたら、速やかにかかりつけの獣医師に相談してください。

#### 甲状腺機能亢進症はチロブロック®錠を投薬して治るの？

チロブロック®錠を投与することにより、甲状腺ホルモンの値が低下すれば、症状が改善され、猫のQOLを高めることができます。

#### ！投薬を忘れてしまったら

チロブロック®錠を1日2回投薬しているとき、2回のうち1回忘れた場合は、次回投薬する時に2回分を1度に投薬しないでください。1回スキップして次の回から獣医師に指示された量を飲ませるようにしましょう。猫ちゃんによって1回に投薬してもよい量が決まっていますので、自己判断で投薬量を増やすと副作用が出ることがあるのでやめましょう。



## 5 日常生活で気を付けること

この病気と診断されても必要以上に心配されることはありません。これまでどおりの生活を過ごしていただいて構いませんが、次のことは気を付けてください。

- **獣医師から指示された投薬量を守ってください。**
- 猫の症状が落ち着いても治ったわけではなく、投薬を中止するとまた症状が出る場合があります。
- 大切な猫ちゃんが、つらくならないためにも、獣医師の指示どおりに投薬していただくことが大切です。
- **定期的に受診しましょう。**
- お薬の効果や副作用をチェックするため、定期的に症状、血液検査や甲状腺ホルモン量を測定する必要があります。そのため**投薬開始から3ヵ月までは2~4週間ごと、投薬開始後3ヵ月以降は2~3ヵ月ごと**に受診し、検査を受けるようにしましょう。
- 症状は変わらないのに血液検査値が異常になることもあります。この場合は、副作用や合併症の恐れがあるため、定期的な診察を心がけましょう。

## 検査値表の使い方

検査したら記入し猫ちゃんの状態をチェックしてください。

診察日		年 月 日	年 月 日	年 月 日
体重	kg			
血球検査	赤血球数	10 <sup>4</sup> /μL		
	総白血球数	個/μL		
甲状腺機能検査 T4(サイロキシン)	好中球	%		
	T4	μg/dL		
糖代謝検査	血糖値	mg/dL		
	AST(GOT)	U/L		
肝機能検査	ALT(GPT)	U/L		
	ALP	U/L		
	コレステロール	mg/dL		
腎機能検査	BUN	mg/dL		
	クレアチニン	mg/dL		
追加した検査があれば記入してください。				
その他	最高血圧/最低血圧	mmHg	/	/
	脈拍数	回		
猫ちゃんの症状に気付いたことがあれば、特記事項に記載して先生に伝えましょう。	特記事項			

※投薬開始日から3ヵ月までは2~4週間ごとに検査、投薬開始してから3ヵ月以降は2~3ヵ月ごとに検査

# 検査値表

診察日		年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
検査項目	体重	kg							
	赤血球数	10 <sup>4</sup> /μL							
	総白血球数	個/μL							
	好中球	%							
	T4	μg/dL							
	血糖値	mg/dL							
	AST(GOT)	U/L							
	ALT(GPT)	U/L							
	ALP	U/L							
	コレステロール	mg/dL							
	BUN	mg/dL							
	クレアチニン	mg/dL							
その他	最高血圧/最低血圧	mmHg	/	/	/	/	/	/	/
	脈拍数	回							
特記事項									

※投薬開始日から3ヵ月までは2~4週間ごとに検査、投薬開始してから3ヵ月以降は2~3ヵ月ごとに検査

# 検査値表

診察日		年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
検査項目	体重	kg							
	赤血球数	10 <sup>4</sup> /μL							
	総白血球数	個/μL							
	好中球	%							
	T4	μg/dL							
	血糖値	mg/dL							
	AST(GOT)	U/L							
	ALT(GPT)	U/L							
	ALP	U/L							
	コレステロール	mg/dL							
	BUN	mg/dL							
	クレアチニン	mg/dL							
その他	最高血圧/最低血圧	mmHg	/	/	/	/	/	/	/
	脈拍数	回							
特記事項									

※投薬開始日から3ヵ月までは2~4週間ごとに検査、投薬開始してから3ヵ月以降は2~3ヵ月ごとに検査

# MEMO

検査表を貼るなど、記録を残すためにご自由にお使いください。